

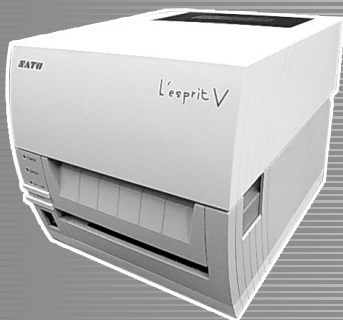
取扱説明書

ラベルプリンタ

レスプリVシリーズ

このたびは、当社バーコードプリンタレスプリVシリーズをお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

本書をよくお読みいただき、レスプリVシリーズの機能を理解し、正しくお使いください。



レスプリT400vシリーズ

感熱方式専用
203dpi/305dpi

レスプリR400vシリーズ

感熱方式/熱転写方式兼用
203dpi/305dpi





※サトー純正用紙・リボンのご使用をお願いします。

安全上のご注意




本章では、プリンタのご使用時における安全について記載しております。プリンタをご使用になる前に必ずよくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書やプリンタの表示では、プリンタを安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への被害や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっていきます。内容をよく理解して、本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

-  △記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
-  ●記号は「してはいけないこと」を意味しています。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
-  ●記号は「しなければならないこと」を意味しています。図の中に具体的な内容指示(左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください。)が描かれています。

 警告		
<p>不安定な場所に置かない</p> <ul style="list-style-type: none">  ・ぐらついた台の上や傾いた所、振動のある場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因になります。 	<p>必ずアース線を接続して</p> <ul style="list-style-type: none">  ・必ずプリンタのアース線をアースへ接続してください。アース線を接続しないと感電の原因になります。 	<p>異常な状態で使用しない</p> <ul style="list-style-type: none">  ・万一、プリンタから煙がでている、変な臭いがするなどの異常が発生したまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。
<p>水などの入った容器を置かない</p> <ul style="list-style-type: none">  ・プリンタの周辺に花びん、コップなど水や薬品の入った容器や小さな金属物を置かないでください。万一、こぼしたり、中に入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 	<p>電源コードの取り扱いについて</p> <ul style="list-style-type: none">  ・電源コードを傷つけたり、破損、加工したりしないでください。また、重いものを乗せたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。  ・電源コードは傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。  ・電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。 	<p>分解しないでください</p> <ul style="list-style-type: none">  ・プリンタの分解や改造をしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご依頼ください。
<p>内部に異物を入れない</p> <ul style="list-style-type: none">  ・プリンタの開口部(ケーブルの出口など)から金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物が入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。 	<p>落としたり、破損したときは</p> <ul style="list-style-type: none">  ・プリンタを落としたり、破損した場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。 	<p>カットについて</p> <ul style="list-style-type: none">  ・プリンタに手やものを入れないでください。ケガをするおそれがあります。
<p>指定以外の電圧は使用しない</p> <ul style="list-style-type: none">  ・指定された電源電圧(AC100V)以外は、使用しないでください。火災・感電の原因になります。 	<p>ヘッド清掃液の取り扱いについて</p> <ul style="list-style-type: none">  ・ヘッド清掃液は、火気厳禁です。加熱したり、火の中に放り込むことは、絶対に行わないでください。  ・お子様が間違えて飲み込まないように手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。 	

⚠ 注意

湿度が高い場所に置かない



・プリンタを湿度の高い場所、結露する場所に置かないでください。結露した場合は、速やかに電源スイッチを切り、乾くまで使用しないでください。結露したまま使用すると、感電の原因となります。

持ち運び



・移動されるときは、必ず電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜き、外部との接続線を外したことを確認の上、行ってください。外さないまま移動すると、コード、接続線が傷つき火災・感電の原因になります。



・用紙をセットしたまま、プリンタを持ち運ばないでください。用紙が落ち、ケガをするおそれがあります。



・プリンタを床や台の上などに置く場合、プリンタの足に指や手を挟まないように注意してください。

電源



・濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

電源コード



・電源コードに熱器具を近づけないでください。熱器具を近づけた場合電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。



・電源コードをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを持って抜いた場合芯線の露出や断線し、



火災・感電の原因になることがあります。

・本プリンタに付属の電源コードセットは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

カバー



・カバーの開閉には、指を挟まないように注意して行ってください。また、カバーが滑り落ちないようにしっかりと持って行ってください。

サーマルヘッド



・印字後のサーマルヘッドは、高い温度になっています。印字直後の用紙の交換、清掃は、火傷をしないように注意して行ってください。



・サーマルヘッドの端を素手で触るとケガをするおそれがあります。用紙の交換、清掃はサーマルヘッドに触らないように注意して行ってください。

・お客様によるサーマルヘッドの交換は、行わないでください。ケガ、火傷および感電のおそれがあります。

サーマルヘッドの開閉



・サーマルヘッドの開閉には、用紙以外の異物を挟まないように注意して行ってください。ケガ、破損の原因になることがあります。

用紙のセット



・ロール紙をセットするとき、用紙と供給部の間に指を挟まないように注意して行ってください。



・ファンフォールド紙通し口のウィンドウを開けると、ケガをしないように注意して行ってください。

長期間ご使用にならないとき



・プリンタを長期間ご使用にならないときは、安全のため電源コードの抜き差しプラグをコンセントから抜いてください。

お手入れ・清掃のとき



・プリンタのお手入れや清掃を行うときは、安全のため電源コードの抜き差しプラグをコンセントから抜いてください。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容について万全を期して作成いたしましたですが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店ディーラーへご連絡ください。
- (4) この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

付属品の確認

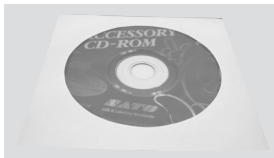
箱の中には本体のほかに以下のものが同梱されています。全てが揃っているかどうか、必ず確認してください。万が一ないものがあればご購入された販売店または販売ディーラーまでご連絡ください。



●クリーニングペン



●電源コード／ACアダプタ
●2極アダプタ



●CD-ROM



●ボリューム調整用ドライバ
※プリンタ本体に添付されています。



●保証書 ●メンテナンス案内書
●説明書 ●セットアップガイド



●テスト用ラベルとリボン



●リボンアダプタ

※テスト用リボンおよびリボンアダプタは熟転写仕様のみ添付となります。



●USBケーブル



本プリンタに付属の電源コードセットは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

各部の名称

プリンタ本体【本体外観】

● ウィンドウ

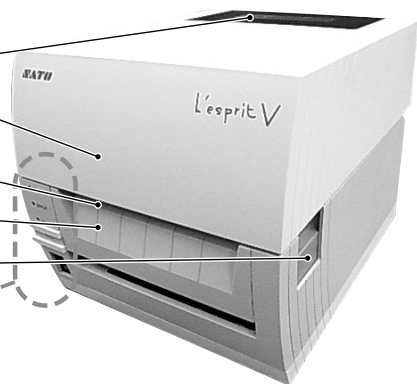
● トップカバー

● ラベル出口

● フロントカバー

● オープンレバー

● 操作部

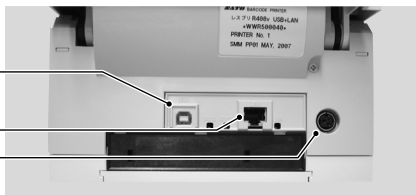


【背面部 (USB+LAN インタフェース)】

● USBインタフェース

● LANインタフェース

● DC入力電源端子
(電源コネクタ)



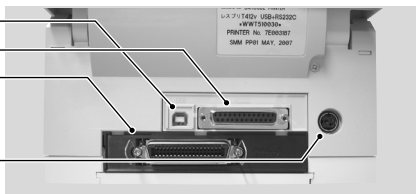
【背面部 (USB+RS-232C インタフェース)】

● USBインタフェース

● RS-232Cインタフェース

● インタフェースボード
オプションのインタフェースボードによりインタフェースを変更することができます。

● DC入力電源端子
(電源コネクタ)



各部の名称

トップカバーオープン時

【レスプリ T400vシリーズの場合】

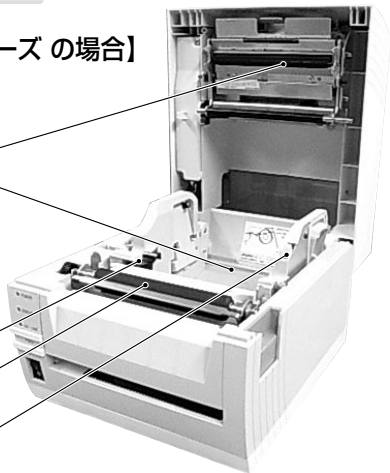
●サーマルヘッド

●用紙ホルダ

●用紙センサ

●プラテンローラー

●用紙ホルダ
スライドレバー



【レスプリ R400vシリーズの場合】

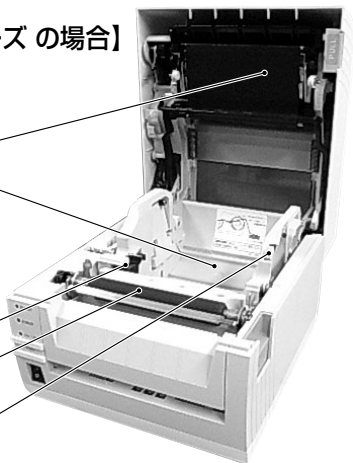
●リボンユニット

●用紙ホルダ

●用紙センサ

●プラテンローラー

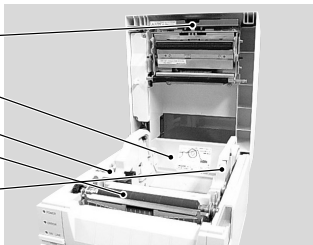
●用紙ホルダ
スライドレバー



トップカバーオープン時【カッタタイプ】

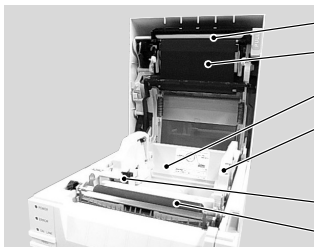
【レスプリ T400vシリーズ の場合】

- カッタ上刃
- 用紙ホルダ
- 用紙センサ
- プラテンローラー
- 用紙ホルダ
スライドレバー



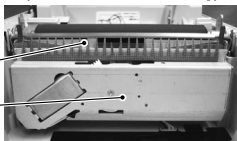
【レスプリ R400vシリーズ の場合】

- カッタ上刃
- リボンユニット
- 用紙ホルダ
- 用紙ホルダ
スライドレバー
- 用紙センサ
- プラテンローラー



(フロントカバーオープン時)

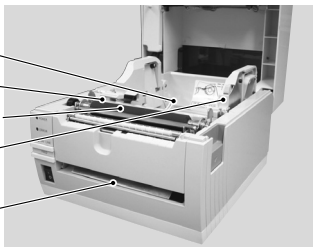
- カッタ下刃
- カッタユニット



各部の名称

トップカバーオープン時【ハクリタイプ】

- 用紙ホルダ
- 用紙センサ
- プラテンローラー
- 用紙ホルダ
スライドレバー
- 台紙排出口



(フロントカバーオープン時)

- ハクリユニット



【バッテリー】

- バッテリー
- バッテリー電圧安定器
- バッテリーチャージャー



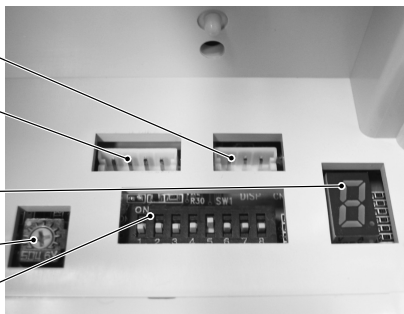
【操作部】

- 「POWER」ランプ
電源スイッチを入れると点灯（緑色）します。
- 「ERROR」ランプ
エラーが発生したときに、点灯したりまたは点滅（赤色）します。
- 「ON LINE」ランプ
点灯（緑色）しているときは受信可能状態です。
- 「ON LINE」キー
発行停止／再開とデータ受信を中止するときに押します。
- 「FEED」キー
オフライン状態のときに押すと、用紙を送ることができます。
- 電源スイッチ



【フロントカバーオープン時】

- ハクリコネクタ
- カッタコネクタ
- エラー表示ランプ
- 調整用ボリューム
- ディップスイッチ (DSW1)



電源を入れてみましょう

【電源のセット (ACアダプタ)】

ACアダプタ／電源コードを本プリンタにセットして電源を入れます。

1 設置が終わったら、つぎのように電源をセットします。

2 電源コードをACアダプタにセットします。

3 本体→ACアダプタ→電源コードとつないでください。電源コードを本体の電源コネクタに差し込むときは、電源コードの上下を確認してください。本体に差し込むときは、本体を片手で押さえて差し込んでください。

4 添付のACアダプタを本体側、電源コードをコンセント側にセットします。

添付の電源コードのプラグの形は、3極タイプになっています。3極タイプのコンセントは3本の足のうち1本がアース用です。電源コンセントが3極のときは、そのまま電源コードを差し込んでください。

電源コンセントが2極タイプのときは、電源コードに添付の2極アダプタをセットして電源コンセントに差し込んでください。



必ずアース線をアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因となります。



本プリンタに付属の電源コードセットは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

【電源を入れてみましょう〔ACアダプタ〕】

本体正面の電源スイッチを入れます。「|」と書いてある側を押してください。

電源スイッチを入れるとPOWERランプが点灯します。(ONLINEランプも点灯します。)ご確認ください。

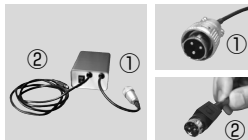


注意

濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

【電源のセット〔バッテリー(オプション)〕】

- 1 設置が終わったらつぎのようにバッテリーをセットします。
- 2 バッテリー電圧安定器のコネクタ①(バッテリー用)をバッテリーに接続します。コネクタ①(バッテリー用)の向きに注意して差し込んでください。
- 3 バッテリー電圧安定器のコネクタ②(プリンタ用)をプリンタ本体にセットします。コネクタ②(プリンタ用)の上下を確認して差し込んでください。プリンタ本体に差し込むときは、プリンタ本体を片手で押さえて差し込んでください。



バッテリーパックを電源に使用する場合、バッテリー動作モード指定コマンド〈TB〉で、必ずバッテリー動作に設定してください。コマンドの詳細については、添付しているアクセサリCD-ROMのSBPLを参照してください。

電源を入れてみましょう

【電源を入れてみましょう〔バッテリー(オプション)〕】

- 1** バッテリー電圧安定器の電源スイッチを入れます。「|」と書いてある側を押してください。電源スイッチを入れるとランプが点灯します。



- 2** プリンタ本体正面の電源スイッチを入れます。「|」と書いてある側を押してください。電源スイッチを入れるとランプが点灯します。(ONLINEランプも点灯します。)ご確認ください。



注意

濡れた手でバッテリー電圧安定器の電源スイッチ、プリンタ本体の電源スイッチの操作をしないでください。感電するおそれがあります。

【あれ?おかしいな】

今までおこなった準備が正しくできていないときは、ONLINEランプまたはPOWERランプが点灯しません。準備が正しくできていないときは、ERRORランプが点灯したり点滅します。ERRORランプが点灯したり点滅したときは、準備をし直してください。

【電源を切りましょう】

本プリンタが正常に動いたことを確認したら、電源を切ってみましょう。いきなり電源を切らないで、電源を切ってもよいかつぎのことを確認しましょう。

▲電源を切る前に確認してください

[ONLINE] キーを押して、ONLINEランプが消えたことを確認してください。ONLINEランプが消えた後に電源を切ってください。「O」と書いてある側を押してください。

電源を入れてみましょう

- バッテリチャージャーのランプが赤点灯していないときは、バッテリチャージャーの電源コードがしっかり取り付けられているか確認してください。しっかり取り付けられていないと、充電されないことがあります。
- すでに充電を完了しているバッテリーを取り付けたときは、バッテリチャージャーのランプが1度橙点灯してから緑点灯します。
- バッテリチャージャーのランプが橙点滅になると、バッテリー異常のおそれがあります。販売店・ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。



注意

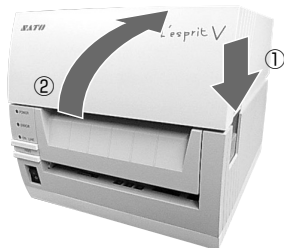
本プリンタに付属のバッテリチャージャーセットは、本プリンタ専用です。
他の電気製品には使用できません。

カーボンリボンのセット

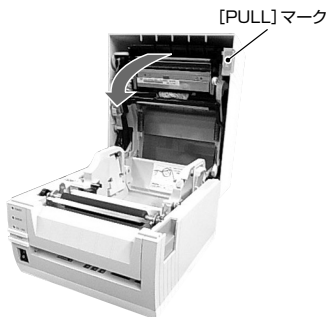
【カーボンリボンのセット】

熱転写方式のR408v/R412vの場合

- 1**
- ①本体右側のオープンレバーを下に押し、ロックを解除し、
 - ②トップカバーを開けます。



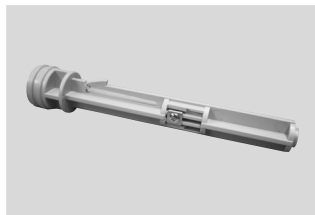
- 2**
- リボンユニットの[PULL]マークを引き、リボンユニットを手前に出します。



カーボンリボンの幅が、92mm以上と76mm以下により、カーボンリボンのセットの方法3～6が異なります。

92mm以上の幅のカーボンリボンの場合、カーボンリボンを直接、リボンユニットにセットします。

76mm以下の幅のカーボンリボンの場合、リボンアダプタを使用して、リボンユニットにセットします。

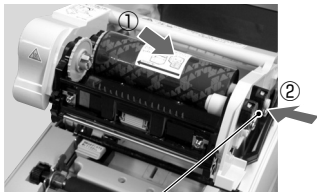


リボンアダプタ

カーボンリボンのセット

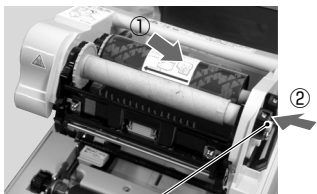
【92mm以上の幅のカーボンリボンのセット】

- 3** ①カーボンリボンをリボン供給部の右側からセット後、②コアガイドを押します。



リボン供給部のコアガイド

- 4** ①リボン支管をリボン巻取り部の右側からセット後、②コアガイドを押します。



リボン巻取り部のコアガイド

- 5** カーボンリボンをリボン供給部よりサーマルヘッドの下を通して、リボン巻取り部へ通します。リボン支管にカーボンリボンをテープなどで貼り付けて、数回矢印の方向へ巻取ります。

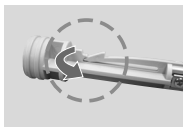


ラベル押さえ

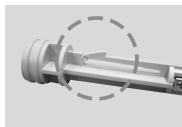
カーボンリボンは、必ずサーマルヘッドとラベル押さえの間を通してください。ラベル押さえの下には通さないでください。

【76mm以下の幅のカーボンリボンのセット】

- 3** カーボンリボンの幅が76mmまたは59mmの場合、リボンアダプタの爪を下にセットします。そのままの状態から爪を矢印の方向に回して、下にセットします。カーボンリボンの幅が45mmの場合、そのままの状態にします。



76mmまたは59mmの場合



45mmの場合

- 4** リボンアダプタにカーボンリボンをセットします。



76mmまたは59mmの場合



45mmの場合

- 5** ①カーボンリボンをセットしたリボンアダプタをリボン供給部の右側からセットします。②リボン支管をセットしたリボンアダプタをリボン巻取り部の右側からセットします。



- 6** カーボンリボンをリボン供給部よりサーマルヘッドの下を通して、リボン巻取り部へ通します。リボン支管にカーボンリボンをテープなどで貼り付けて、数回矢印の方向へ巻取ります。



ラベル押さえ

カーボンリボンは、必ずサーマルヘッドとラベル押さえの間を通してください。ラベル押さえの下には通さないでください。

カーボンリボンのセット

- 7** リボンユニットをトップカバーに入れ、元に戻します。



注意

リボンユニットを閉じてからトップカバーを閉じると、トップカバーが正常に閉じない場合があります。必ず、リボンユニットをトップカバーに入れてください。

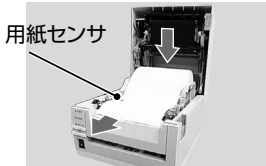


注意

カッタタイプの場合、リボンユニットをトップカバーに入れるときは、カッタ上刃に触れて手を切らぬように注意して行ってください。



- 8** 用紙を用紙ホルダにセットします。用紙を引き出した後、用紙センサの間に用紙を通します。



- 9** トップカバーを閉じます。このとき、上面の矢印の部分を押し、「カチッ」と音がするまでしっかり閉じてください。



- 10** ①「FEED」キーを押して、用紙の頭出しを行います。
②最後に「ON LINE」キーを押して、オンライン状態にしてください。



注意

印字終了後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後のカーボンリボンの交換は、火傷しないように注意して行ってください。

サーマルヘッドの端に素手で触るとケガをするおそれがあります。

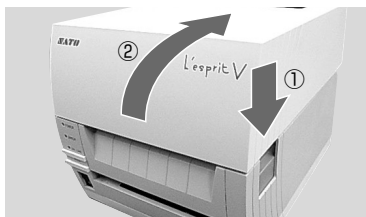
カーボンリボンの交換は、ケガをしないように注意して行ってください。

トップカバーを閉めるときは、指を挟まないように注意して行ってください。

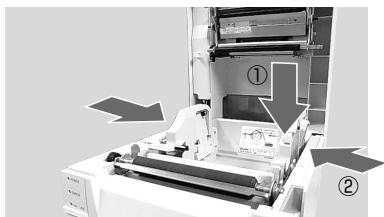
カッタタイプの場合、手を切らぬように注意して行ってください。

ロール紙のセット [連続・カッタ・ノンセパ]

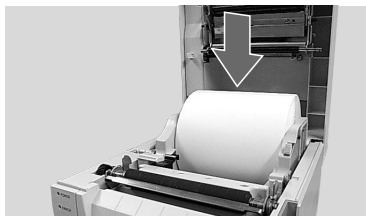
- 1** ①本体右側のオープンバーを下に押しつけてロックを解除し、②トップカバーを開けます。



- 2** ①用紙ホルダスライドレバーを押しながら、②用紙サイズに合わせて用紙ホルダを調節します。

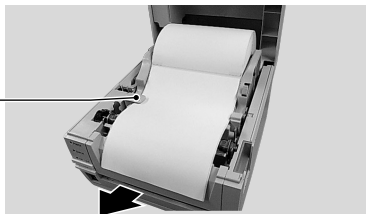


- 3** 用紙を用紙ホルダにセットします。



- 4** 用紙を引き出した後、用紙センサの間に用紙を通します。

用紙センサ



ロール紙のセット [連続・カッター・ノンセパ]

5 トップカバーを閉じます。

このとき、上面の矢印の部分を押して“カチッ”と音がするまでしっかりと閉じてください。



6 ①「FEED」キーを押して、用紙の頭出しを行います。

②最後に「ON LINE」キーを押して、オンライン状態にしてください。



注意

印字終了後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後の用紙の交換は、火傷しないように注意して行ってください。

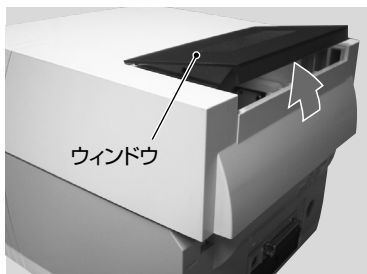
サーマルヘッドの端に素手で触るとケガをするおそれがあります。

用紙交換は、ケガをしないように注意して行ってください。

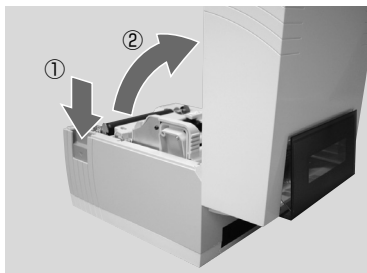
トップカバーを閉めるときは、指を挟まないように注意して行ってください。

ファンフォールド紙のセット [連続・カッタ]

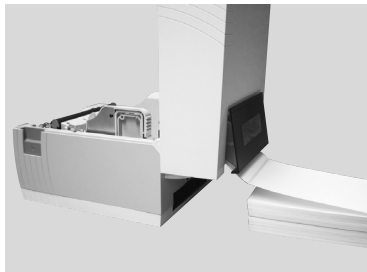
- 1** ウィンドウを後ろ側から開けます。



- 2** ①本体右側のオープンレバーを下に押し、②ロックを解除し、③トップカバーを開けます。



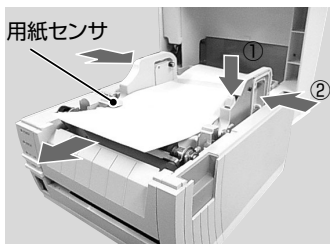
- 3** 開けたウィンドウから用紙を通します。



ファンフォールド紙のセット [連続・カット]

- 4** ①用紙ホルダスライドレバーを押しながら、②用紙サイズに合わせて用紙ホルダを調節します。

用紙を引き出した後、用紙センサの間に用紙を通します。



- 5** トップカバーを閉じます。

このとき、上面の矢印の部分を押して「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。



- 6** ①「FEED」キーを押して、用紙の頭出しを行います。

②最後に「ON LINE」キーを押して、オンライン状態にしてください。



注意

印字終了後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後の用紙の交換は、火傷しないように注意して行ってください。

サーマルヘッドの端に素手で触るとケガをするおそれがあります。

用紙交換は、ケガをしないように注意して行ってください。

トップカバーを閉めるときは、指を挟まないように注意して行ってください。

ロール紙のセット [ハクリ]

- 1** ①本体右側のオープンレバーを下に押し、ロックを解除し、②トップカバーを開けます。

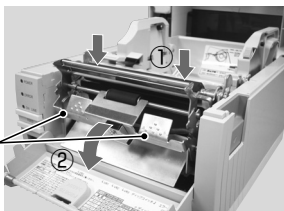


- 2** フロントカバーを前に開けます。

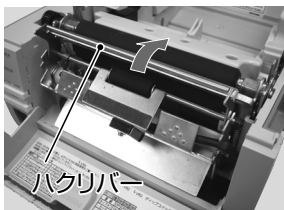


- 3** ①ハクリユニットの[PUSHDOWN]マークを下に押しながら前に倒し、②ハクリユニットを開けます。

[PUSHDOWN]マーク

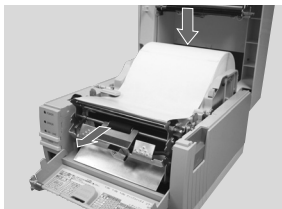


- 4** ハクリユニットを開けると、自動的にハクリバーが矢印の方向に開きます。



ロール紙のセット [ハクリ]

- 5** ラベルをはがし、約15cm程台紙だけの状態にして、用紙を用紙ホルダにセットします。用紙を引き出した後、用紙センサの間に用紙を通します。



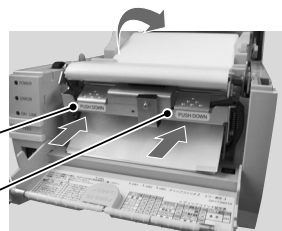
- 6** ハクリユニットとプラテンローラーの間に台紙を通します。ハクリプレートより下にできるように台紙をセットします。

プラテンローラー
ハクリユニット
ハクリプレート

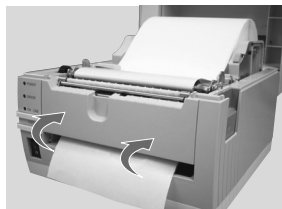


- 7** ハクリユニットの [PUSHDOWN] マークを矢印の方向に押しつけて閉じます。台紙がたるんでいる場合は、ラベルを回して巻取り、たるまないようにします。

[PUSHDOWN] マーク



- 8** フロントカバーを閉じます。



- 9** トップカバーを閉じます。
このとき、上面の矢印の部分を押して“カチッ”と音がするまでしっかりと閉じてください。



- 10** ①「FEED」キーを押して、用紙の頭出しを行います。
②最後に「ON LINE」キーを押して、オンライン状態にしてください。



注意

印字終了後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後の用紙の交換は、火傷しないように注意して行ってください。

サーマルヘッドの端に素手で触るとケガをするおそれがあります。

用紙交換は、ケガをしないように注意して行ってください。

トップカバーを閉めるときは、指を挟まないように注意して行ってください。

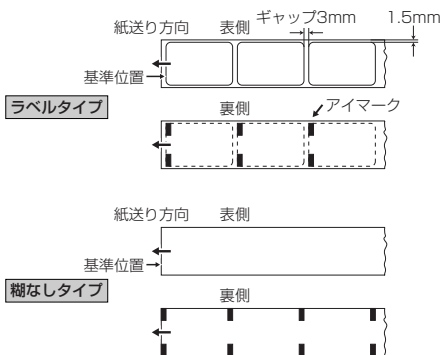
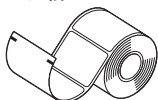
印字位置の調整

▲印字の基準位置

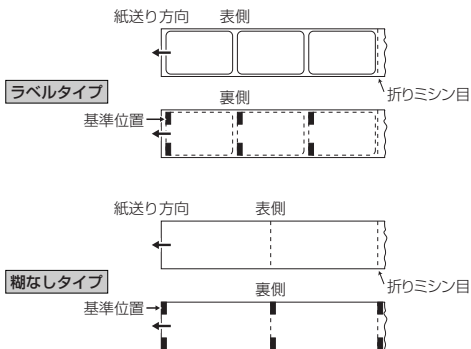
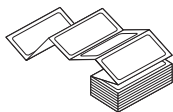
ラベル使用時の印字の基準位置は、ラベルの先頭が基準位置となります。

ファンフォールド紙使用時の印字基準位置は、ファンフォールド紙の裏面にあるアイマークの先頭の位置が基準位置となります。

ロール紙



ファンフォールド紙



※用紙幅が30mm以下のときは、アイマークが1本線になります。

印字の基準位置が正規の位置にない場合、トップカバーを開け、プリンタ本体に添付してあるボリューム調整用ドライバのプラス側を使用して「印字位置調整」ボリュームの調整を行います。

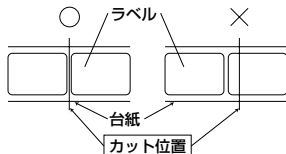
左回し：印字方向に対し印字位置を前に移動する
右回し：印字方向に対し印字位置を後ろに移動する



カット位置の調整

▲ラベルのカット

ラベル使用時のカット位置は、ラベルとラベルの間、カストリ(台紙のみの部分)が正規のカット位置となります。



▲カット位置の調整

カット位置が正規の位置にない場合、トップカバーを開け、プリンタ本体に添付してあるボリューム調整用ドライバのプラス側を使用して「オフセット調整」ボリュームの調整を行います。

ラベルのカットは、のりがカッタ刃に付いて切れを悪くします。ご注意ください。

- 左回し：印字方向に対し後ろにラベル停止する
- 右回し：印字方向に対し前にラベル停止する



▲ミシン目のある用紙のカット

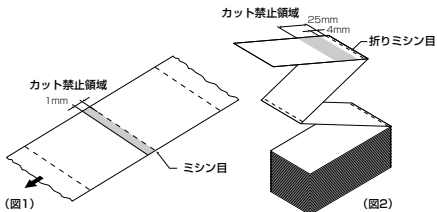
ミシン目のある用紙では、ミシン目およびミシン目の手前はカット禁止領域です。

動作不良の原因になります。

ミシン目およびミシン目の手前をカットしている場合、ミシン目の後ろでカットするようにボリューム調整用ドライバのプラス側を使用して「オフセット調整」ボリュームの調整を行います。

以下の項目は本プリンタで使用できる用紙の仕様となりますので、使用する前にご確認ください。

- ①用紙厚さ(台紙含)は0.08~0.19mmです。
詳しくは、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。
- ②カット精度は、 ± 1.5 mmです。
- ③カッタユニットは、カットピッチが20~400mmまで有効です。
ただし、使用条件によってはカットサイズを規制する場合があります。
- ④ミシン目の+1mmは、カット禁止領域(図1)です。
- ⑤ファンフォールド紙の折りミシン目から+4~+25mmはカット禁止領域(図2)です。
- ⑥ボリューム調整後、2~5枚程度ラベルを発行することで、カット位置が安定します。



コンピュータとの接続

【標準インターフェース】

●USB+LANタイプ



USBインターフェース

LANインターフェース

- ① USBインターフェースを使用する場合、フロントカバー内にあるDSW1-8をOFFに設定します。
LANインターフェースを使用する場合、フロントカバー内にあるDSW1-8をONに設定します。

- ② USBインターフェースまたはLANインターフェースのレスプリ互換モードを設定するためには、プリンタ底面の基板にあるDSW3-2で設定します。

ディップスイッチ設定の詳細については、【ディップスイッチの設定】を参照してください。

→32～34ページ

●USB+RS-232Cタイプ



USBインターフェース

RS-232Cインターフェース

- ① USBインターフェースを使用する場合、フロントカバー内にあるDSW1-8をOFFに設定します。
RS-232Cインターフェースを使用する場合、フロントカバー内にあるDSW1-8をONに設定します。

- ② RS-232Cインターフェースの通信条件を設定するためには、プリンタ底面の基板にあるDSW2で設定します。

- ③ USBインターフェースのレスプリ互換モードを設定するためには、プリンタ底面の基板にあるDSW3-2で設定します。

ディップスイッチ設定の詳細については、【ディップスイッチの設定】を参照してください。

→32～34ページ

コンピュータとの接続

【拡張インタフェース(オプション)】

●IEEE1284インタフェース



IEEE1284インタフェース

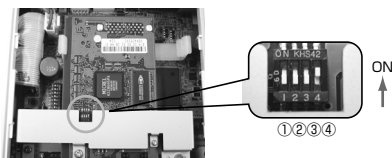
- ① IEEE1284インタフェースを使用する場合、プリンタ底面の基板にあるDSW3-1をONに設定します。
- ② IEEE1284インタフェースのレスプリ互換モードを設定するためには、プリンタ底面の基板にあるDSW3-2で設定します。

ディップスイッチの設定の詳細については、【ディップスイッチの設定】を参照してください。
→34ページ

●無線LANインタフェース



無線LANインタフェース



無線LANインタフェースボード ディップスイッチ表

No	ONにしてプリンタの電源を入れたときの動作 (①～③)	
①	未使用	
②	無線LANインタフェースボード設定情報初期化	
③	無線LANインタフェースボード設定情報印字/自己診断印字 (IPアドレスなどの設定情報の印字と無線LANインタフェースボードの診断結果を印字します)	
④	通信モード (無線LAN動作の場合)	OFF : Ad Hoc ON : Infrastructure

LANケーブルを接続して電源を投入すると、LANインタフェースで起動します。
LANケーブルを接続せずに電源を投入すると、無線LANインタフェースで起動します。

- ① 無線LANインタフェースを使用する場合、プリンタ底面の基板にあるDSW3-1をONに設定します。
- ② 無線LANインタフェースのレスプリ互換モードを設定するためには、プリンタ底面の基板にあるDSW3-2で設定します。

ディップスイッチの設定の詳細については、【ディップスイッチの設定】を参照してください。

→34ページ

●Bluetoothインタフェース



Bluetoothインタフェース

Bluetoothインタフェースボードは、プリンタ内部に格納されていますので、外観から見ることはできません。

- ① Bluetoothインタフェースを使用する場合、プリンタ底面の基板にあるDSW3-1をONに設定してください。

ディップスイッチの設定の詳細については、【ディップスイッチの設定】を参照してください。

→34ページ

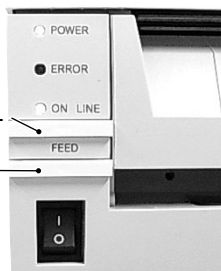
各インタフェースの詳細については、添付しているセットアップガイドもしくは、SBPLを参照してください。

印字動作の確認とエラー番号表示

【プリンタ状態印字】

プリンタの状態の印字を行います。
現在設定されている内容が印字されますので
設定印字を確認しましょう。

1 [FEED] キーを押しながら
電源を入れます。



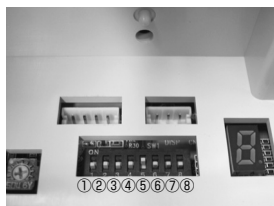
2 ブザーが鳴りますので、次の [ON LINE] キー
キーを押してください。

[ON LINE] キーを押すと大きい
サイズで印字されます。

[FEED] キーを押すと小さいサ
イズで印字されます。

印字中に [FEED] キーを押すと
印字停止／再開します。

3 プリンタの設定内容が印字されます。
印字された内容がDSWの設定値と
同じかどうか、確認しましょう。



【ディップスイッチの設定】

ご使用のプリンタのオプション仕様に合せて設定されておりますが、万が一設定が違っていたときは、ディップスイッチを設定し直してください。

※ディップスイッチの詳細設定はプリンタ本体に貼り付けている説明シールを参照してください。

●ディップスイッチ設定表DSW1（フロントカバー内）



USB+LANタイプ

①②③④⑤⑥⑦⑧

モード切替	DSW1-1	DSW1-2	DSW1-3	印字方法	DSW1-4	ダンプモード	DSW1-7
連続	OFF	OFF	OFF	ダイレクトサーマル	OFF	無効	OFF
ティアオフ	ON	OFF	OFF	熱転写	ON	有効	ON
カット	OFF	ON	OFF	ヘッドチェック	DSW1-5	インタフェース切替	DSW1-8
ハクリ	ON	ON	OFF	無効	OFF	USB	OFF
ノンセパ	OFF	OFF	ON	有効	ON	LAN	ON
パーソナルカット	ON	ON	ON	VR1調整選択	DSW1-6		
フォントダウンロード	OFF	ON	ON	オフセット調整	OFF		
				印字濃度調整	ON		

USB+RS-232Cタイプ

モード切替	DSW1-1	DSW1-2	DSW1-3	印字方法	DSW1-4	ダンプモード	DSW1-7
連続	OFF	OFF	OFF	ダイレクトサーマル	OFF	無効	OFF
ティアオフ	ON	OFF	OFF	熱転写	ON	有効	ON
カット	OFF	ON	OFF	ヘッドチェック	DSW1-5	インタフェース切替	DSW1-8
ハクリ	ON	ON	OFF	無効	OFF	USB	OFF
ノンセパ	OFF	OFF	ON	有効	ON	RS-232C	ON
パーソナルカット	ON	ON	ON	VR1調整選択	DSW1-6		
フォントダウンロード	OFF	ON	ON	オフセット調整	OFF		
				印字濃度調整	ON		

※ヘッドチェックはヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保证する機能ではありません。
定期的に読取りチェックをお願いします。

※詳細については、プリンタに添付しているセットアップガイドを参照してください。

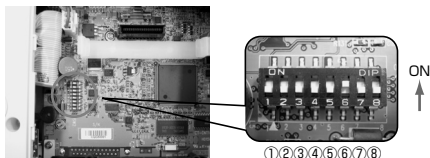
印字動作の確認とエラー番号表示

●ディップスイッチ設定表DSW2 (RS-232Cインタフェース設定) USB+RS-232Cタイプのみになります。

RS-232Cインタフェースの設定を行うディップスイッチDSW2の設定を変更をするには、

- ①プリンタ本体の電源を切り、電源コネクタを取り外します。
- ②接続しているインタフェースケーブルを取り外します。
- ③プリンタにセットしている用紙を外します。
- ④プリンタ底面のふたを取り外します。

基板にあるディップスイッチDSW2のON/OFFを設定して、RS-232Cインタフェースの設定を切替えます。



No	機能	説明		
①	データビット長	OFF : 8ビット (初期値) ON : 7ビット		
②	パリティビット	DSW2-2	DSW2-3	パリティビット
③		OFF	OFF	無し (初期値)
		OFF	ON	偶数
		ON	OFF	奇数
		ON	ON	未使用
④	ストップビット	OFF : 1ビット (初期値) ON : 2ビット		
⑤	ボーレート	DSW2-5	DSW2-6	ボーレート
⑥		OFF	OFF	9600bps
		OFF	ON	19200bps (初期値)
		ON	OFF	38400bps
		ON	ON	57600bps
⑦	通信プロトコル	DSW2-7	DSW2-8	プロトコル
⑧		OFF	OFF	READY/BUSY (初期値)
		OFF	ON	XON/XOFF
		ON	OFF	ステータス3返送
		ON	ON	ドライバ専用プロトコル

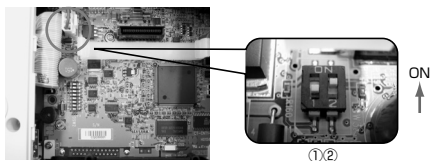
- **ディップスイッチ設定表DSW3 (インタフェース切替え/互換モード設定)**
標準/拡張インタフェースの切替えを行うディップスイッチDSW3の設定を変更するには、

- ① プリンタ本体の電源を切り、電源コネクタを取り外します。
- ② 接続しているインタフェースケーブルを取り外します。
- ③ プリンタにセットしている用紙を外します。
- ④ プリンタ底面のふたを取り外します。

基板にあるディップスイッチDSW3-1のON/OFFを設定して、標準/拡張インタフェースの設定を切替えます。

ディップスイッチDSW3-2のON/OFFを設定して、レスプリ互換モード設定を切替えます。

互換モードとは、レスプリT400シリーズ、レスプリR400シリーズと同様の動作をするモードです。



USB+LANタイプ

No	機能	説明
①	未使用	通常 OFF
②	レスプリ互換モード設定	OFF : 互換モード ON : 標準モード (初期値)

USB+RS-232Cタイプ

No	機能	説明
①	標準/拡張 インタフェース切替え	OFF : 標準インタフェース DSW1-8がOFFの場合、USBインタフェース DSW1-8がONの場合、RS-232Cインタフェース ON : 拡張インタフェース (オプション)
②	レスプリ互換モード設定	OFF : 互換モード ON : 標準モード (初期値)

印字動作の確認とエラー番号表示

【エラー番号表示】

エラー番	原因	解除方法
0	FLASH ROM読み込み・書き込みオーバーまたは書き込み回数オーバーです。	販売店・ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。
2	基板不良	販売店・ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。
3	EEPROMエラー	販売店・ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。
4	サーマルヘッドが断線しています。	販売店・ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。
5	サーマルヘッドまたはトップカバーがロックされていません。	トップカバーの上面の両側を押して「カチッ」と音がするまで閉じてください。
6	用紙がなくなりました。	新しい用紙をセットしてください。
7	センサ種類が合っていません。またはセンサレベルが合っていません。	販売店・ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。
8	カットが接続されていません。またはカットが正常に行われませんでした。 *1	販売店・ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。 *1 カット、ノンセパ、パーシャルカットタイプの場合
9	リボンがなくなりました。またはリボンが切れています。*2	リボンを正しくセットしてください。 *2 熱転写方式のR408v/R412vの場合
A	コンピュータから送られてくるデータ量が多すぎます。	電源を入れ直してください。コンピュータのソフトウェアデータ量が通信条件に合うように調整してください。
b	コンピュータとの通信条件設定に不都合があります。	それでもエラーが解除されないときは通信条件の確認を行ってください。
c		
d		
H	漢字ROMからの読み込みが正常に行われませんでした。	販売店・ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。
L*	バッテリーがなくなりました。	バッテリーを充電してください。
r	RFIDタグからの読み込み・書き込みが正常に行われませんでした。	新しいRFIDタグをセットしてください。

*バッテリーの容量が少なくなると、「L」を点滅表示します。

プリンタのお手入れについて

本プリンタは大切な情報を含んだバーコードや文字を印字するプリンタです。各部が汚れていると大切なバーコードや文字もきれいに印字できなくなるだけでなく、故障の原因にもなります。クリーニングペン、クリーニングセット*、ラッピングシート*を使って定期的に清掃してください。

▲お手入れの時期

お手入れの時期の目安は、次の通りです。

クリーニングセットでのお手入れ

- サーマルヘッド、プラテンローラー、用紙センサ
用紙1巻おき、あるいは用紙50メートル印字ごと

ラッピングシートでのお手入れ

- 用紙6巻おき、あるいは300メートル印字ごと
- 上のクリーニング時期は目安ですので、汚れの程度によってクリーニングしてください。

▲お手入れのときの注意

お手入れのとき、次のことに注意してください。

- 各部の清掃には、クリーニングペンや綿布をご使用ください。
- ドライバなどの堅いものを使用して清掃すると、各部を傷つけるおそれがあります。特にサーマルヘッド部の清掃には絶対に使用しないでください。
- 電源は必ず切ってからおこなってください。

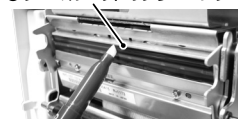
▲お手入れのしかた（クリーニングセットを使用）

- 1 トップカバーを開け、ヘッド部を開けてください。

- 2 プリンタ清掃液をクリーニングペンに浸して、サーマルヘッドとプラテンローラーの汚れを取り除きます。

※ ノンセパカッタをお使いの方は、綿布でローラー周りの汚れもふき取ってください。

●サーマルヘッドのクリーニング



●プラテンローラーのクリーニング



* クリーニングセット、ラッピングシートはオプションです。サポートセンタ、販売店へお問合わせください。

プリンタのお手入れについて

▲お手入れのしかた(ラッピングシートを使用)

1 ラッピングシートをサーマルヘッドとプラテンローラーの間に挟み、トップカバーを閉じます。

2 両手でラッピングシートを手前に引きます。これを2~3回繰り返してください。これでサーマルヘッドの付着カスは除去されます。まだカスが残っている時は、さらに数回繰り返してください。

※ラッピングシートは、ザラザラしている面が上になる様にはさんでください。

●ラッピングシートを使用



3 サーマルヘッドをクリーニングペンでクリーニングし、ヘッド面をきれいにしてください。



注意

クリーニングを行うときは、必ず電源を切ってから行ってください。
サーマルヘッドの清掃には、必ずクリーニングペンを使用して行ってください。

基本仕様

モデル名	レスブリT/R408v	レスブリT/R412v
印字方式	T:感熱方式専用 R:感熱方式/熱転写方式兼用	
ヘッド密度(解像度)	8dot/mm (203dpi)	12dot/mm (305dpi)
印字有効エリア	最大 長さ 400mm×幅 104mm	
印字速度	50~150mm/秒(2~6インチ/秒) 50~100mm/秒(2~4インチ/秒) 注)ただし、印字レイアウト、用紙、カーボンリボンの種類によっては制限する場合があります。	
印字禁止領域	長さ方向 上:1.5mm以下、下:1.5mm以下(台紙含まず) 幅方向 左:1.5mm以下、右:1.5mm以下(台紙含まず)	
印字種類/用紙形態	サトー純正用紙のご使用をお願いします。/ロール紙、ファンフォールド紙	
用紙厚	80~190 μ m (0.08~0.19mm)	
用紙サイズ	<p>標準 長さ : 15~397mm (18~400mm) 幅 : 25~115mm (28~118mm)</p> <p>ティアオフ 長さ : 27~397mm (30~400mm) 幅 : 25~115mm (28~118mm)</p> <p>ハクリ 長さ : 20~120mm (23~123mm) 幅 : 25~115mm (28~118mm)</p> <p>カット 長さ : 20~397mm (23~400mm) 幅 : 25~115mm (28~118mm)</p> <p>ノンセバ 長さ : 30~123mm 幅 : 25~110mm</p> <p>パーシャルカット 長さ : 20~397mm (23~400mm) 幅 : 25~115mm (28~118mm)</p> <p>※()は台紙サイズ ※発行枚数や用紙、使用条件によってサイズを制限する場合があります。</p>	
用紙外径/支管サイズ	<p>ロール紙 用紙外径:最大 115mm 支管内径:40mm(1.5インチ) 巻き方向:表巻き</p> <p>ファンフォールド紙 最大積み高さ:最大 100mm</p>	
リボン種類	サトー純正カーボンリボンのご使用をお願いします。	
リボンサイズ/ リボン形態/ リボン巻方向	<p>リボン長:最大 100m巻 リボン幅:最大 111mm 巻き方向:表巻き 巻取り方式:支管巻取り</p>	
発行モード	<p>標準 : 連続、ティアオフ オプション: ハクリ、カット、ノンセバ、パーシャルカット</p>	
寸法/重量	幅198mm×奥行247mm×高さ181mm/約3.2kg (ACアダプタ除く)	
電源仕様	<p>ACアダプタを使用 入力電圧: AC100~240V\pm10% 出力電圧: DC25V (2.0A)</p> <p>バッテリーを使用 定格電圧・容量 DC24V 7.3Ah 消費電力: ピーク時: 120W/180VA (印字率30%) 待機時 : 15W/30VA</p>	

基本仕様

モデル名	レスブリT/R408v	レスブリT/R412v
環境条件 (温度/湿度)	動作周囲温度 5~35℃ 湿度 30~80%RH (ただし、結露無きこと) 保存周囲温度 -5~60℃ 湿度 30~90%RH (ただし、結露無きこと) ※ノンセバ仕様では、環境条件を規制する場合があります。 ※上記の条件は、サプライ製品によって異なる場合があります。	
インタフェース	①USB+LAN ②USB+RS-232C	
通信インタフェースボード (オプション)	①パラレル (IEEE1284) インタフェースボード ②無線LANインタフェースボード ③Bluetooth (Ver.2.0準拠)	
オプション	①ハクリユニット ②カッタユニット ③ノンセバ仕様 (T408v/T412vのみ) ④RFID仕様 (HF帯) ⑤バッテリー	
操作キー	キー : ONLINE, FEED LED : POWER, ONLINE, ERROR, フェグメントLED	
レベル調整	①用紙センサ調整 ②印字位置調整 ③印字濃度調整 ④ティアオフ/ハクリ/カッタ停止位置調整 ※ただし、印字濃度調節とティアオフ/ハクリ/カッタ停止位置調整はDSW1-6で切替え	
用紙長検出センサ	①アイマークセンサ (反射タイプ) ②ギャップセンサ (透過タイプ)	
バーコード	UPC-A/UPC-E, JAN/EAN, CODE39, CODE93, CODE128, GS1-128 (UCC/EAN128), CODABAR (NW-7), ITF, インダストリアル2of5, マトリックス2of5, カスタマバーコード, UPCアドオンコード, GS1 DataBar Omnidirectional, GS1 DataBar Truncated, GS1 DataBar Stacked, GS1 DataBar Stacked Omnidirectional, GS1 DataBar Limited, GS1 DataBar Expanded, GS1 DataBar Expanded Stacked ※GS1 DataBarはRSSのことです。	
2次元コード	QRコード, マイクロQR, PDF417, マイクロPDF, MAXIコード, GS1データマトリックス (ECC200)	
合成シンボル	EAN-13 Composite, EAN-8 Composite, UPC-A Composite, UPC-E Composite, GS1 DataBar Composite, GS1 DataBar Truncated Composite, GS1 DataBar Stacked Composite, GS1 DataBar Stacked Omnidirectional Composite, GS1 DataBar Limited Composite, GS1 DataBar Expanded Composite, GS1 DataBar Expanded Stacked Composite, GS1-128 Composite ※GS1 DataBarはRSSのことです。 ※GS1-128はUCC/EAN128のことです。	

モデル名		レスブリT/R408v	レスブリT/R412v
標準搭載 フォント	ビットマップ フォント	X20文字 5× 9dot (英数字、記号、カナ)	
		X21文字 17×17dot (英数字、記号、カナ)	
		X22文字 24×24dot (英数字、記号、カナ)	
		X23文字 48×48dot (英数字、記号、カナ)	
		X24文字 48×48dot (英数字、記号、カナ)	
		漢字 16×16dot (JIS第1水準、第2水準、角ゴシック体)	
		漢字 22×22dot (JIS第1水準、第2水準、角ゴシック体)	
		漢字 24×24dot (JIS第1水準、第2水準、角ゴシック体)	
		※日本語 (JIS X208準拠)	
		OCR-A 15×22dot (英数字、記号)	OCR-A 22×33dot (英数字、記号)
		OCR-B 20×24dot (英数字、記号)	OCR-B 30×36dot (英数字、記号)
	アウトラインフォント	英数字、記号、カナ	
印字方向	文字 : 0°、90°、180°、270° バーコード : パラレル1 (0°)、パラレル2 (180°)、シリアル1 (90°)、 シリアル2 (270°)		
バーコード比率	1:2、1:3、2:5、任意指定可能		
拡大倍率 (文字・バーコード)	文字 : 縦1~12倍、横1~12倍 バーコード : 1~12倍		
搭載機能	①ステータス返送機能 ②グラフィック機能 ③連番機能 ④フォームオーバーレイ機能 ⑤外字登録機能 ⑥文字補正機能 ⑦白黒反転機能 ⑧罫線機能 ⑨ゼロスラッシュ切替機能 ⑩JIS/ソフトJIS切替機能 ⑪ダンプリスト機能 ⑫アウトラインフォント機能 ⑬アウトライン変形機能		
自己診断機能	①ヘッド切れチェック ②ヘッド/カバーオープン検出 ③ペーパーエンド検出 ④リボンエンド検出 (R408v/R412vのみ) ⑤リボンニアエンド検出 (R408v/R412vのみ) ⑥テスト印字 ⑦漢字ROMチェック ⑧ローバッテリー検出 (オプション使用時)		
ノイズ規格	VCCI Class B		
無線規格	無線LAN (2.45GHz)	電波法 2.45GHz 帯高度化小電力データ通信システムの認証	
	HF 帯 RFID	電波法 13.56MHz 帯高度化小電力データ通信システムの認証	

他社製品の登録商標および商標について

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



“Bluetooth”は、米国Bluetooth SIGの商標です。
弊社は同団体とのライセンス契約に基づき使用しています。

ご注意

Bluetooth仕様または無線LAN仕様をお買い上げのお客様へ

電波に関するご注意

本製品は、電波法に基づく技術基準の適合認証を受けています。従って本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は日本国内でのみ使用できます。

以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

- ・ 本製品を分解／改造すること
- ・ 本製品に貼ってある証明ラベル(シリアルシール)をはがすこと

次の場所で使用した場合、著しく通信距離が短くなったり、通信できないことがあります。

電子レンジの近辺、静電気や電波障害が発生するところ、無線LAN機器の近辺。

無線LANインタフェースをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。

アフターフォローについて

サトーでは、お買い上げいただきましたサトーのシステム機器を安心してご使用いただくため、保守サービス業務を行っております。
保守サービス業務について、ご説明します。

【サービスの種類一覧】

	交換部品	技術料	出向費
保証期間内サービス	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償
保守契約サービス	契約料金に含みませ	契約料金に含みませ	契約料金に含みませ
スポットサービス	そのつど有償	そのつど有償	そのつど有償

標準仕様機器の補修部品の保有は、当該機器の販売終了後より5年間とさせていただきます（機器の販売終了につきましては、弊社のホームページ<http://www.sato.co.jp>でご確認ください）。

【保守サービスの内容一覧】

出向保守	オンサイト保守	故障が発生した場合、お客様のご要望により技術員を派遣し、故障の修理にあたりませ。
持ち込み保守	センドバック保守	故障が発生した場合は用紙を同梱した状態で、機器・故障ユニットを最寄りのサポートセンター・販売店へ、お客様により持ち込んで（運送して）いただいて、故障の修理にあたりませ。運送費はお客様負担となります。

【保守サービスの説明】

保証期間の保守サービス

製品は1台ごとに検査し、お届けしていますが、安心してご使用いただくため、正常な使用のもとでの故障については、納入日より6か月間を保証期間として無償修理を行っております。
サーマルヘッド、カッタ、プラテンローラーなどの消耗部品につきましては、弊社純正サプライ製品での走行距離30km（カッタは30万回）またはお買上日後6か月間の早い方が無償修理対応となります。

アフターフォローについて

【保守契約サービス】

保証期間が過ぎましても、安心してご使用いただくために「保守契約サービス」があります。

フルメンテナンスサービス

1. 目的

お客様とサトーが保守契約し、契約期間中の正常なご使用のもとでの修理は、この契約に基づき実施いたします。技術料、および修理に使用した交換部品は、保守契約により充当されます。したがって、お客様にとりましては1年間一定の保守料で安心してご使用いただくことができます。

2. 保守契約料

保守契約料は、機器ごとにご使用状況別に年間の契約料をお見積りいたします。

保守契約サービスの期間

フルメンテナンスサービスは1か年単位で契約し、解約のお申し出がない限り、4年間まで継続して契約することができます。4年を超える保守契約サービスについては、別基準に従い個々にお見積りいたします。

保守契約の対象地域について

保守契約の対象地域に、サトー本社、支店、営業所、サポートセンターの所在地より半径80km以内といたします。対象地域外の場合は、遠隔地料を含む保守契約料により保守契約を申し受けます。なお離島の場合は、交通費を含む保守契約料により保守契約を申し受けます。

【スポットサービス】

保守契約を申し受けていない場合、保証期間終了後、スポットサービスを実施いたします。故障時には、保守契約のお客様を優先して対応させていただきますので、修理に時間がかかる場合がございますが、ご了承ください。

スポットサービスを実施した場合、サービス料金表に基づき、保守料を請求させていただきます。そのつどお支払いいただきますよう、お願いいたします。

銀行預金口座振込

お支払いには、振込手続が不要で便利な「銀行預金口座振込システム」のご利用をお勧めいたします。

登録データについて

修理を依頼される場合は、機械またはカードなどに登録された各種データ・ソフト（フォーマット・プリセットデータ・印字ソフト等々）は、修復作業時に壊れる場合があります（登録された各種データ・ソフトの保証はできません）。

特に預かり・持込み保守におきましては、お客様で予め別途保存されることをお勧めします。修理の完了した機械の受け取り時に登録データの確認または再登録をお願いいたします。

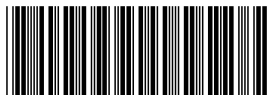
MEMO

MEMO

SATO
DCS & Labeling Worldwide



再生紙と植物性大豆インキを使用しています。



Q02155003